

## 平成 26 年度 第 4 回運営幹事会 議事録

作井技術委員会 事務局

開催日時:平成 27 年 1 月 20 日(火)16:00~17:30

開催場所:石油資源開発 19 階 1906 会議室

出席者:武村委員長、戸田、日野、池田、浦野、菅野(代理)、長縄、前田、片岡(計 9 名)

欠席者:田村、尾上、古谷、福嶋、佐藤

### 議題 1:報告事項

#### 1) 大水深掘削技術分科会:前田座長

- 昨年 12 月 10 日に、第 19 回会合を開催(詳細は分科会活動実施報告を参照)。

#### 2) 協会ホームページ委員会:片岡

- 1 月 12 日より、平成 27 年度春季講演会 個人講演申込受付の会告を協会ホームページ上にて公開。
- 昨年末より、JAPT のホームページ制作会社のサーバーがダウン。復旧までしばらくかかる予定である。その間、会員専用ページにアクセス、および作井技術委員会ページの情報アップデートは不可。

#### 3) 協会理事会:武村委員長

- 会員の増減、80 周年記念事業の特別会計検査終了、協会誌印刷費削減案に関する検討経過、について。

#### 4) 協会幹事会:長縄

- 春季特別講演の講演内容が選定された。テーマは 3 つに絞られており(東京スカイツリーの建設、油価下落による経済性、水素エネルギー)、2 月 24 日の理事会で承認される予定。
- 平成 28 年度春季講演の開催場所は 2 月 24 日の理事会にて決定する予定。

### 議題 2:平成 27 年度春季講演会準備

#### 1) シンポジウム趣意書案検討

- 事務局作成たき台を修正、趣意書案を作成。-添付資料参照。本趣意書案を作井技術委員に送付し、急いでシンポジウム講演の議題を募る。

#### 2) 作井部門シンポジウム実施方法の検討

- 前回の幹事会で合意した、講演の間に少人数グループでの討論を挟む形式とする。
- 参加者全員が能動的に討論に参加できるように、グループ分けを工夫する(入社年度で分ける 等)。
- 現時点で、JAPEX, INPEX, 出光よりシンポジウム講演案が事務局に提出されている。長縄氏からは、リスクを回避するための対策やリスクの整理方法について講演が可能であることを伺っている。

- 講演のジャンル分けや討論の時間配分は、幹事会で概要を紹介された大水深海底坑口装置関連トラブル(INPEX)、ライナー設置作業関連の複数のトラブル事例(JAPEX)、出光の海洋 HTHP 坑井トラブル事例の他、今後出てくる講演を加え決定する。
- 3月中を目途に講演者から講演内容を収集し、小グループ討論での論点を抽出しておく。シンポジウム準備のためのミーティングを2回程度持つことを想定しておく。
- 小グループ討論のファシリテーターは運営幹事または各社からの推薦者が務めることとし、事前に選定しておく。書記役が討論内容をとりまとめ、グループ討論の結果を発表する。
- 小グループの討論の結果をシンポジウム講演といっしょに協会誌に掲載する。掲載方法については今後検討する。

### 3) 個人講演の割当て 等

- 1月20日現在で、作井部門の個人講演申込はない。
- 今後、JAPEXから5件、INPEXから1件、Telniteから1件の講演申込がある見込み。

### 議題3:懸案事項

#### 1) 平成26年度第2回作井技術委員会

- 開催候補日:3月24、27、30、31日  
運営幹事、作井技術委員に候補日を連絡し、開催日を決定する。
- 特別講演
  - \*ヒューマンファクターに関する講演を3月下旬に行うのは講演者の都合がつかず無理(JAPEX)。
  - \*運営幹事は、良い特別講演案があれば推薦する。
  - \*シンポジウムとは直接関連しないが、他に具体案がなければJAPEXで国内タイトオイル開発関連の講演を検討してみる。

以上